排水専用フレキシブルホース（塩化ビニール製）

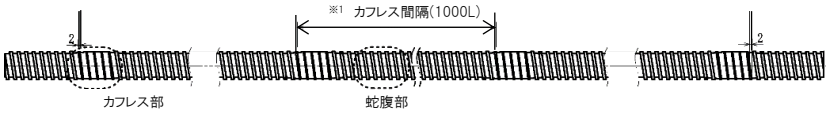
QDフレックス QD FLEX

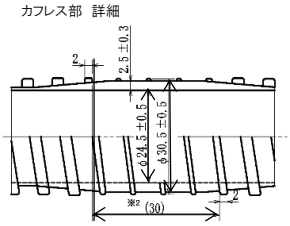
内面フラットでスムース排水

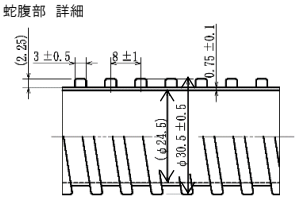
耐凍結性に優れる

様々な塩ビ管用継手が使用可能
外径が塩ビ管外径と同じ!!

可とう性、施工性に優れる







材　　質
チューブ　　軟質PVC
補強線　　硬質PVC

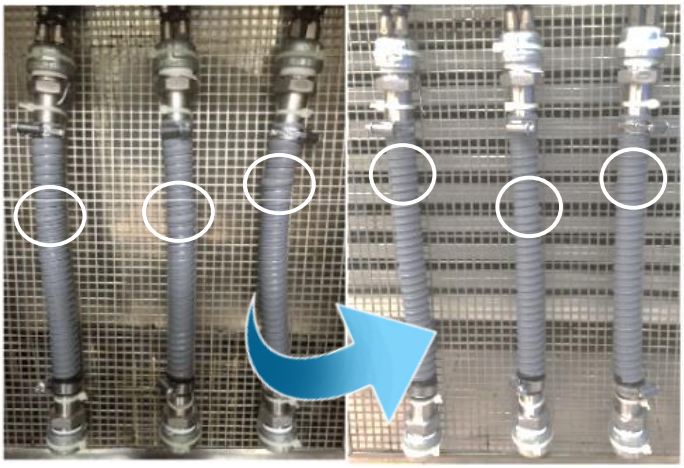
※1 カフレス間隔は1000Lを下回らないよう生産していますが、ホースの曲げ癖等による縮みは考慮しません。
※2 補強線横寸法が2㎜を下回っている箇所を『カフレス』と呼びます。
※3 カフレス部のホース外径は、最も補強線が細い部分を外径寸法とします。
※4 1m単位(1m、2m、3m･･･)で、最長10mです。

品番	呼び径	外径	全長(L)	カフレス部/カフレス間隔 蛇腹部	重量
	(mm)				(g/m)
QDF-1	25	30	※4	30 / 1000 970	181

～ QD FLEXの特長 ～

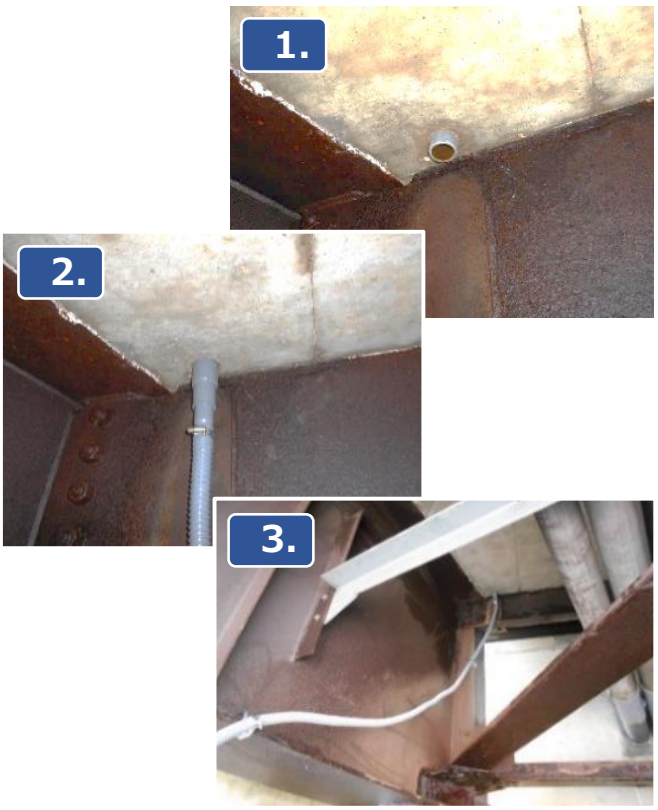
耐凍結性に優れる

■凍結試験
ホース内部を水道水にて満水状態にし、−20℃環境へ72h放置した後、凍結による外観異常の有無、解凍後に損傷等によるホースからの漏水が無いことを確認。



●72h凍結試験直後○部に水の膨張に依る膨れが見られる。【QDFLEXに異常なし】　●解凍後、正常状態へ復元

様々な塩ビ管用継手が使用可能
外径が塩ビ管外径と同じ!!



【施工例】
※既設の排水管(塩ビ製)の流末をTS異径ソケットと塩ビタケノコにて補修完了。

耐薬品性に優れる
海沿いや、凍結防止剤（塩化ナトリウム）や融雪剤（塩化カルシウム）を使用する降雪寒冷地にも塩害対策として有効です。

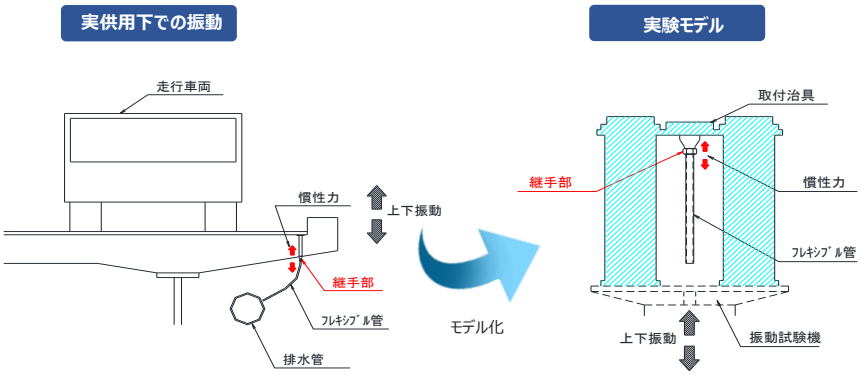
試験液	濃度(wt%)	結果
水	蒸留水	◎
塩水	10	◎
硫酸	30	○
硝酸	30	△
水酸化ナトリウム	30	○

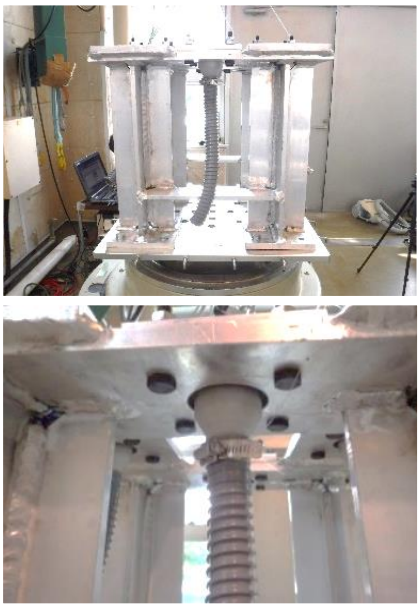
◎：ほとんど影響しない
○：若干影響はあるが条件により使用可
△：使用に適さない

注)耐薬品性データは測定値であり、保証値ではありません。また、実際にホースが使用される条件下とは現象が異なる場合がありますので詳しい使用条件をご確認のうえ、使用してください。

耐振動性に優れる

床版排水管の流末管には、ステンレス製のフレキシブル管を使用するのが一般的ですが、昨今の5年に一度の橋梁の法定点検の義務化に伴い、振動による脱落や寒冷地での凍結の影響による継手部の破損など、部材の損傷も見受けらるようになりました。当社製品(クイックドレーンⅡ)の流末管継手部についても懸念される損傷について、性能確認(耐振動試験)を実施した結果、200万回の振動でもQD FLEXの脱落はありませんでした。





■耐振動試験状況【実験モデル】
クイックドレーンⅡ(ドレーンD)＋QDフレックス

■設定条件

振動数	5.0Hz	NEXCO試験法432「断面修復用吹付けモルタルの試験方法」において実供用下の床版振動を再現した振動数として設定された値を採用。
片振幅	0.5mm	上記試験方法では全振幅0.5mmだが、床版下面への曲げ振動を再現している。輪荷重除荷後の跳ね返りを考慮して、片振幅0.5、全振幅1.0mmとした。

加速度	0.49m/s2	左記条件より、正弦波の式より0.49m/s2とした。
最大振動回数	200万回	NEXCO試験法418「ゴム支承の特性に関する試験方法」の最大振動回数200万回を、支点付近の大きな振動回数に近いものと考え採用した。

※実際の振動試験では、試験時間短縮を目的として、加速度一定で振動数を20Hzとした試験条件で実施。

取り扱い上の注意 ～パイプを安全にご使用いただくため、以下の取り扱い上の注意事項をお守りください～

1. 使用前の注意事項

1) パイプおよびホースは環境温度、流体温度、流体物により性能、耐久性に大きく影響を受けます。
温度、流体に応じたパイプをご使用ください。
2) パイプは排水専用です。給水及び水圧のかかる場所ではご使用できません。
3) その他特殊な使用条件・用途の場合は、お気軽に弊社営業担当までお問い合わせください。

2. 使用時の注意事項

1) 最小曲げ半径以下に曲げてのご使用は、パイプの性能を低下させ、パイプの耐用期間を短くしますので、最小曲げ半径以上でご使用ください。**最小曲げ半径の目安は、パイプ外径の3倍以上としてください。**
2) 金属、コンクリートなどの固い物の角が当たる箇所および振動、屈曲等で他の物体と擦れる部分には衝撃材、保護具等で保護し、ご使用ください。
3) **接続の際、引っ張り配管、ねじり配管にならないように接続してください。**

3. 保管上の注意事項

1) 直射日光が当たらない、湿度の低い冷暗所に保管してください。
2) チリ、ごみがパイプに入らないよう両端にキャップなどを施してください。
3) パイプを大量に積み上げたり、パイプの上に重量物を置かないでください。
4) パイプを極端に曲げた状態で保管しないでください。

株式会社橋梁メンテナンス
〒114-0023
東京都北区滝野川6-3-1
Tel：03-3910-8961/Fax：03-5961-6471
E-mail：eigyo@hashi-mente.co.jp
URL：https://www.hashi-mente.co.jp

■規格・仕様については商品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

Ver.R060327